

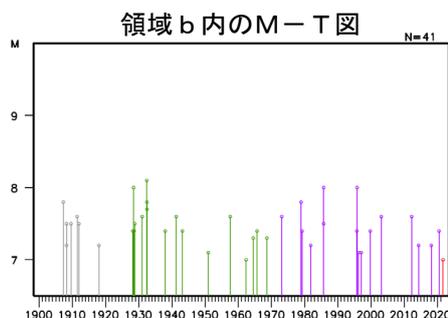
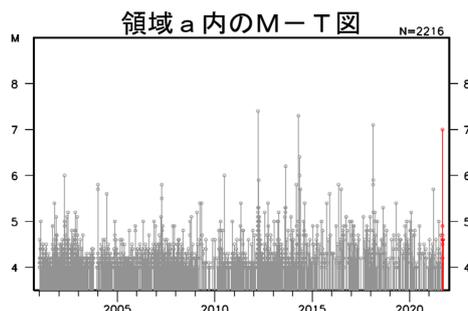
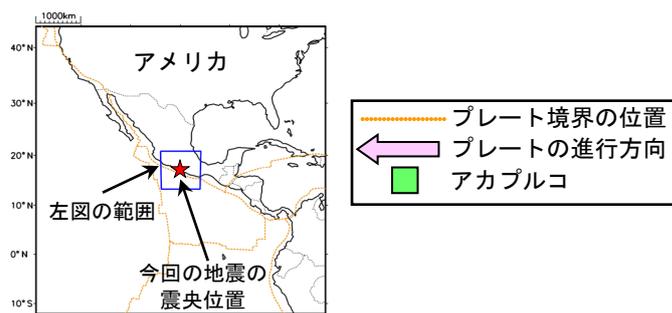
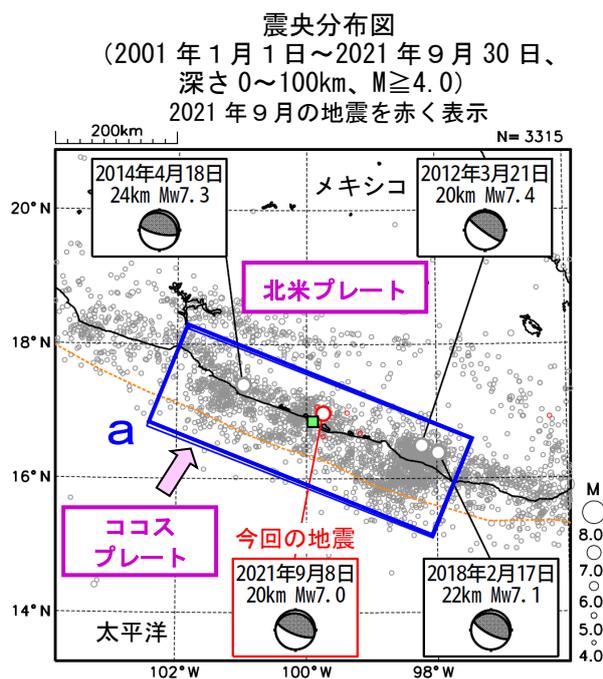
## 9月8日 メキシコ、ゲレロ州沿岸の地震

情報発表に用いた震央地名は「メキシコ、ゲレロ州」である。

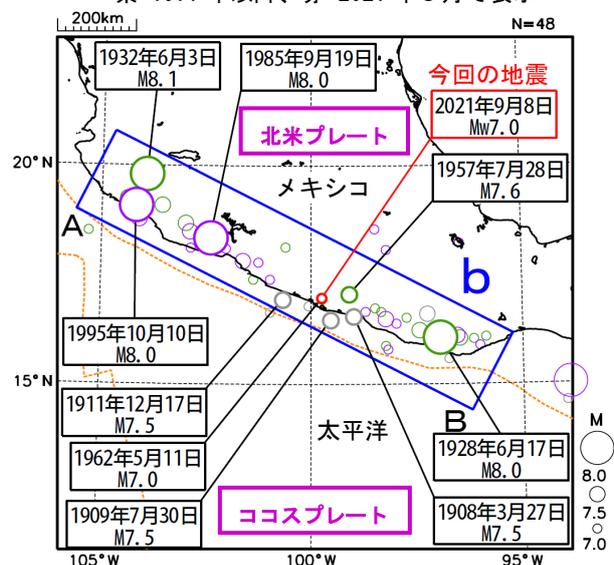
2021年9月8日10時47分（日本時間、以下同じ）にメキシコ、ゲレロ州沿岸の深さ20kmでMw7.0の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、ココスプレートと北米プレートの境界で発生した。気象庁は、この地震に対して、同日11時12分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、メキシコのアカプルコで0.48mの津波を観測した。また、この地震により死者1人などの被害が生じた（国連人道問題調整事務所（OCHA）による（2021年9月8日現在））。

2001年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、その内、M7.0以上の地震が今回の地震も含めて4回発生している。

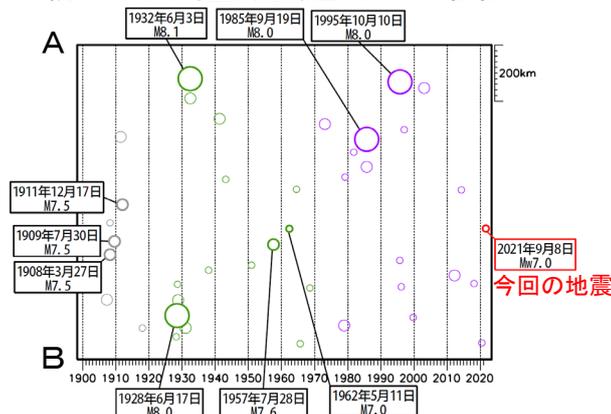
1904年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域b）ではM7.0以上の地震が時々発生している。1985年9月19日には、M8.0の地震が発生し、死者約9500人などの被害が生じた（米国地質調査所（USGS）による）ほか、震央から約400km離れたメキシコシティでも長周期地震動により多くの建物が倒壊・損傷するなどの被害が生じた。



震央分布図  
(1904年1月1日～2021年9月30日、深さ0～100km、M≥7.0)  
震源の色について、灰：1920年まで、緑：1970年まで、  
紫：1971年以降、赤：2021年9月で表示



領域b内の時空間分布図（A-B投影）



※本資料中、今回の地震、及び図中の吹き出しの付いた地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素について、2000年以前の地震は国際地震センター（ISCGEM）、2001年以降の地震は米国地質調査所（USGS）による（2021年10月1日現在）。津波の観測値は、米国海洋大気庁（NOAA）による（2021年10月1日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。

\* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.